

## キャリアデザイン学部専任教員2013年度研究 業績

---

(出版者 / Publisher)

法政大学キャリアデザイン学部

(雑誌名 / Journal or Publication Title)

法政大学キャリアデザイン学部紀要 / 法政大学キャリアデザイン学部紀要

(巻 / Volume)

11

(開始ページ / Start Page)

297

(終了ページ / End Page)

324

(発行年 / Year)

2014-03

## キャリアデザイン学部専任教員2013年度研究業績

### 荒川裕子

#### ◇論文等

- ・「ラファエル前派の受容をめぐって」『ラファエル前派：ヴィクトリア朝絵画の夢』朝日新聞社、2014年1月
- ・「ターナーの版画：御木本隆三コレクションより」『ラスキン文庫たより』第66号、2014年1月
- ・「特集 J. M. W. ターナー」『美術手帖』美術出版社、2013年11月
- ・「特集 英国ヴィクトリア朝美術の陶醉：ラファエル前派から唯美主義まで」『芸術新潮』2014年2月号

#### ◇分担執筆・記事等

- ・「ターナーとラファエル前派の巨匠たち」額絵解説、朝日新聞社、2013年7月～2014年6月
- ・「ART ターナー展」『クロワッサン』863号、2013年10月
- ・「第6章 グローバル化に向けた学び」『キャリアデザイン学への招待』ナカニシヤ、2014年1月

#### ◇その他

- ・『ターナー』展、学術監修、東京都美術館・神戸市立博物館、2013年10月8日～2014年4月6日
- ・『ラファエル前派：ヴィクトリア朝絵画の夢』展、学術監修、森アーツセンターギャラリー、2014年1月25日～4月6日
- ・『ターナーの版画：御木本隆三コレクションより』展、学術監修、銀座ミキモトホール、2014年1月23日～28日
- ・「日本におけるラファエル前派の（再）受容」、《2014 ラファエル前派展記念国際シンポジウム》口頭発表、於：法政大学スカイホール、2014年1月26日
- ・「誰もが伸びる体験学習—多様性に応えるカリキュラム」キャリアデザイン学部連続シンポジウム第14回分担報告、『法政大学キャリアデザイン学会紀

要』第10巻、2014年3月

## 岩谷道夫

### ◇論文

- ・「『フィンズブルフの戦』と『ベーオウルフ』「フィン王の挿話」における Hengest について——A. Bliss の説を中心に」『英語文化研究』、成美堂、2013年9月
- ・「『フィンズブルフの戦』と『ベーオウルフ』「フィン王の挿話」から見るフリージアンとジュートの居住地——Fr. Klaeber の見解を中心に」『法政大学キャリアデザイン学部紀要』、第11号、2014年3月

## 上西充子

### ◇論文

- ・上西充子・梅崎修・南雲智映・後藤嘉代「大学生の労働意識・労働組合認識の獲得過程と就職活動に与える影響」『法政大学キャリアデザイン学会紀要 生涯学習とキャリアデザイン』Vol.11、2014年3月

### ◇その他

- ・上西充子「学卒者の就労」『日本労働研究雑誌』No.633、2013年4月、p.38-41 Mitsuko Uenishi “Employment of New Graduates” *Japan Labor Review*, Volume10, Number 4, Autumn 2013, p.80-89
- ・上西充子・今野晴貴・常見陽平「ブラック企業の見分け方 ～大学生向けガイド～」2013年11月、第2章・第3章・第5章 p.15-49, 61-63、<http://bktp.org/>
- ・嶋崎量・上西充子・今野晴貴「企業の募集要項、見ていますか？—こんな記載には要注意！—」2014年2月、<http://bktp.org/>
- ・上西充子「職業選択論」金山喜昭・児美川孝一郎・武石恵美子編『キャリアデザイン学への招待』ナカニシヤ出版、2014年1月、p.50-58
- ・上西充子「ブラック企業 就職ナビに頼らず自衛を」朝日新聞2013年11月30日朝刊（「私の視点」）

**梅崎修**

## ◇著書

1. (単著)『GIANT KILLING チームを変えるリーダーの掟』(あさ出版)  
(2013年10月)
2. (共編著)『大学生の学びとキャリア—入学前から卒業後までの継続調査の  
分析』(法政大学出版会)(2013年4月)  
序章  
第1章 キャリア意識の測定テスト(CAVT)の開発、  
第2章 体験型学習の効果—CAVTを使った効果測定の試み—  
第3章 初期キャリアの決定要因—全国大学4年生の追跡調査—  
第4章 教育効果の大学間格差—全国大学4年次と卒業後2年目の継続調  
査—  
第5章 人間関係の構築と進路意識—高校生キャリア意識調査の分析—  
第6章 大学生生活と自尊感情—大学1年生に対する縦断調査—  
第7章 大学生の時間管理とキャリア意識  
第8章 希望業種の男女間比較—4年間継続調査の分析—  
終章
3. (共編著)『人事の統計分析—人事マイクロデータを用いた人材マネジメン  
トの検証』(ミネルヴァ書房)(2013年5月)  
序章 本書の研究方法とその対象  
第1章 評価者の離反—人事制度改革の「意図せざる結果」  
第2章 一次評価のその後—企業内の評価調整メカニズム  
第4章 評価を告げる苦痛—評価面接制度の運用  
第6章 [補論1] 評価難易度に関する考察  
第8章 早くから生まれる企業内格差—中小企業における評価・昇格・賃  
金  
第11章 やる気を上げる仕組み—評価・賃金・仕事が労働意欲に与える影  
響
4. (共編著)『教育効果の実証—キャリア形成における有効性』(日本評論社)  
(2013年6月)

300 法政大学キャリアデザイン学部紀要第11号

- 第1章 院卒者の処遇プレミアム
- 第2章 社会人大学院教育とキャリア
- 第3章 志望業界の変更が就活に与える影響
- 第4章 情報活用が就活に与える影響
- 第5章 就活の都市・地方間比較
- 第6章 新卒需要変動と就活の結果

おわりに

◇論文

1. 「進学と就職に伴う地域間移動——全国の大学生データを用いて」『サステイナビリティ研究』第3号 2013年3月 pp.151-167 (田澤実・唐澤克樹との共著)
2. 「地域コミュニティーにおけるソーシャルキャピタル——神楽坂地域の喫茶店を事例にして」『地域イノベーション』第5号 2013年3月 pp.9-20 (田中瑞季と共著)
3. 「日本的経営技法の海外移転——アジアにおける日本生産性本部の活動——」『企業家研究』第10号 2013年5月 pp.1-19 (森直子・島西智輝と共著)
4. 「中小企業における右腕社員の経済効果とキャリア」『キャリアデザイン研究』第9号 2013年9月 pp.95-107 (藤村博之・戎野淑子と共著)
5. 「SNSは就職活動の効果的なツールか?——就職活動生に対するアンケート調査結果の分析」『キャリアデザイン研究』第9号 2013年10月 pp.181-189 (柿澤寿信・田澤実と共著)
6. 「高所得ホワイトカラー層の転職と賃金変化——民営職業紹介データによる実証分析」『キャリアデザイン研究』第9号 2013年10月 pp.181-189 (柿澤寿信・佐保田満美と共著)
7. 「景気変動期にみる大学生の就職意識の変化——「リーマンショック」のインパクトを中心に」『キャリアデザイン研究』第9号 2013年10月 pp.191-198 (田澤実・林絵美子・児美川孝一郎と共著)
8. 「大学生の労働意識・労働組合認識の獲得過程と就職活動に与える影響」『法政大学キャリアデザイン学会紀要 生涯学習とキャリアデザイン』Vol.11 2014年3月 (上西充子・南雲智映・後藤嘉代と共著)

## ◇資料紹介

1. 「NYU Tamiment Library & Robert F. Wagner Labor Archives におけるオーラルヒストリーのデジタル・アーカイブ化について」『高千穂論叢』47 (4) 2013年2月 pp.97-118 (田口和雄と共著)
2. 「The New York Public Library for the Performing Arts and the Ellis Island Immigration Museum におけるオーラルヒストリー・プロジェクトについて」『高千穂学園創立110周年記念論文集 I』) 2013年12月 pp.311—323 (田口和雄との共著)
3. 「MATRIX (The Center for Digital Humanities and Social Sciences at Michigan State University) におけるオーラルヒストリー・デジタル・アーカイブの試み」『法政大学キャリアデザイン学部紀要』第11号 2014年3月 (田口和雄との共著)
4. 「<資料紹介>総評全金住友重機械工業支部の活動と組合分裂——星加文夫氏・藤井正剛氏オーラルヒストリー」『生涯学習とキャリアデザイン』第11号 2013年9月 (南雲智映との共著)
5. 「<資料紹介>総評全金住友重機械工業支部の活動と組合分裂(2)——三好一二三氏オーラルヒストリー」『生涯学習とキャリアデザイン』第12号 2014年3月 (南雲智映との共著)
6. 『近江絹糸人権争議オーラルヒストリー(2) 中村幸男オーラルヒストリー』科研費報告書 (2013年5月)

## ◇その他・エッセイなど

1. 「第2章 学びを深めるゼミナール【武石恵美子・中野貴之・遠藤野ゆり・酒井理・梅崎修】」『キャリアデザイン学への招待——研究と教育実践』(共編著)、ナカニシヤ出版 (2014年1月)
2. 「第7章 学部の学びと卒業後の進路——アンケート調査の分析【田澤実・梅崎修】」『キャリアデザイン学への招待——研究と教育実践』(共編著)、ナカニシヤ出版 (2014年1月)
3. 「落語家のキャリアデザインに学ぶ」日本キャリアデザイン学会 ニュースレター (2013年5月)
4. 「マンガに学ぶチームワーク (インタビュー)」『サイボウズ式』

302 法政大学キャリアデザイン学部紀要第11号

第ビジネスマンガに見る「リーダーに適した『顔面力』」とは（2013年5月）  
現代社会で生き残るためのリーダーシップ～「カイジ」に学ぶ”積極的戦略”  
の極意（2013年6月）

5. 「人生の正午にイギリスで学ぶ（全6回）」『改革者』（2013年7月-12月）

第1回 都市化・工業化と並走しつつ、対抗する（公園）

第2回 地元パブでワークライフバランスを考える

第3回 ロンドンの中の「日本」

第4回 地域における教会のかたち

第5回 伝記文学とキャリアポルノの間で・・・

第6回 大学におけるエリートたちの二極化

6. 「ビジネス偉人伝」サイボウズ式（ペンネーム千野根滋が、ペンネームの  
平山登にインタビューする形式で掲載）

「転職を繰り返したD.カーネギー——世界最大の自己啓発本「人を動かす」  
を作った男」（2013年10月）

「悩める若手リーダーに——人を動かすのは「態度」。すべての自己啓発本に  
共通するたった1つのこと」（2013年11月）

7. 「今こそリーダーシップをアップデートせよ！」『生産性新聞』（2014年1  
月）

8. 「キャリアデザインの専門家が選んだ24作「仕事に効く」マンガの読み方  
～働くあなたへの、8つの処方箋」『日経アソシエ』（2013年8月）pp.44-53（日  
経BPムック『ビジネスに効く400冊 必読本大全』（2013年）（pp.76-85に）  
転載）

9. 「モチベーションを上げる読書案内<マンガ編>」『THE 21』（2013年11月）  
p.48

10. 「ケーススタディーとしての漫画講座」『週刊東洋経済』（2014年1月）  
pp.88-90

◇学会報告

- ・「新卒採用時に求められる能力と採用方法—産業別、従業員教育に着目して」（佐藤一磨・小林徹・田澤実との共著）日本労務学会大会（大阪国際大学）  
2013年7月

**遠藤野ゆり**

## ◇共著書

- ・『あたりまえを疑え！ 臨床教育学入門』（遠藤野ゆり・大塚類）新曜社（2014年3月）（担当箇所：まえがき・序章・第1章・第4章・第8～10章・あとがき）

## ◇論文

- ・「養育環境が20代のキャリア形成を困難にする事例のインタビュー研究 サルトルの対自論に基づいた質的考察」『生涯学習とキャリアデザイン』第11巻 pp.19-31
- ・「商業高校における人間関係についてのインタビュー分析 卒業後をみすえた生きづらさに着目して」『生涯学習とキャリアデザイン』第12巻（2014年3月）

## ◇その他

- ・「第2章 学びを深めるゼミナール」金山喜昭・児美川孝一郎・武石恵美子編『キャリアデザイン学への招待—研究と教育実践』ナカニシヤ出版（2014年1月）
- ・『困難な状況にある子どもの在籍する小・中学校に関する調査報告 vol.2』（共編著：大塚類・遠藤野ゆり共編著）（2014年1月）
- ・「電話相談の受け手ボランティアの抱える課題と倫理の高まり ヒアリング調査の予備的分析」『キャリアデザイン学部紀要』第11巻（研究ノート）（2014年3月）

**金山喜昭**

## ◇編著書

- ・共編著『キャリアデザイン学への招待—研究と教育実践』ナカニシヤ出版、2014年1月

## ◇論文

- ・「指定管理者制度を導入した公立博物館はどのように変わったか（試論）～NPOが運営する10館の事例を検証する～」法政大学キャリアデザイン学部紀要第11号、2014年3月



304 法政大学キャリアデザイン学部紀要第11号

- ・「日本の博物館学芸員の養成の現状と課題～大学の学芸員養成課程より～」  
日越外交関係樹立40周年記念国際シンポジウム『日本人の人材育成から学ぶ  
—更なるベトナムの発展のために』ベトナム国家大学ホーチミン市人文社会  
科学大学、2013年11月
  - ・「大学における博物館学芸員の養成の現状と課題」法政大学資格課程年報  
Vol.3（2013年度）、2014年3月
- ◇研究ノート・報告・その他
- ・「市町村合併による公立博物館の行くえ①～休館から存続に転換した松江市の  
事例から～」  
ミュゼ104号、2013年6月
  - ・「市町村合併による公立博物館の行くえ②～官民協働で地域の文化活動の拠  
点づくりをめざす新潟市西蒲区の実例から～」  
ミュゼ105号、2013年9月
  - ・「市町村合併による公立博物館の行くえ③～北杜市による資料館の統廃合と  
再編の試み～」  
ミュゼ106号、2013年12月
  - ・共著「キャリアデザイン学部認定資格「地域学習支援士」の創設にむけての  
調査研究」法政大学教育研究第4号、2013年
  - ・「松島英子教授のご退職にあたって」法政大学キャリアデザイン学部紀要第  
11号、2014年3月
  - ・共著「2013年度企画展：野上豊一郎と弥生子展報告」法政大学資格課程年報  
Vol.3（2013年度）、2014年3月

◇講演など

- ・パネルディスカッション「直営・指定管理・地方独立法人」平成25年度第3  
回ミュージアム・マネジメント研修（文化庁）、2013年12月
- ・講演「富士山と縄文人の心性を探る」古川電工あかがね倶楽部、2014年3月

## 木村琢磨

◇論文

- ・The Moderating Effects of Political Skill and Leader-Member Exchange on

the Relationship Between Organizational Politics and Affective Commitment. *Journal of Business Ethics*, 116(3), pp.587-599.

## 小門裕幸

### ◇著書

- ・「体験を通じた学び」『キャリアデザイン学への招待』ナカニシヤ出版2014年1月

### ◇論文

- ・「インターネット革命に黎明期のシリコンバレーにおける地域イノベーションの考察（2つのNPOの事例研究を踏まえて）—贈与的交換が起きるシリコンバレーコミュニティの相貌（「かるやかさ」と3つのエンジン）—」『イノベーション・マネジメント』Vol.11,2014-03 法政大学イノベーション・マネジメント研究センター

## 兎美川孝一郎

### ◇著書

- ・「親活」の非ススメ  
（徳間書店、2013年、全190頁）
- ・キャリア教育のウソ  
（筑摩書店、2013年、全190頁）

### ◇論文

- ・若者の消費行動に見る日本社会の未来形  
—「モーレツからビューティフルへ」からの「平凡な日常」—  
（『AD STUDIES』Vol.43、公益財団法人吉田秀雄記念事業財団、2013年、10頁-15頁）
- ・対抗的キャリア教育の“魂”  
（『現代思想』vol.41-5、2013年4月号、青土社、84頁-93頁）
- ・「教育困難校」におけるキャリア支援の現状と課題  
—高校教育システムの「周縁」—  
（『教育社会学研究』第92集、日本教育社会学会、2013年、47頁-63頁）

306 法政大学キャリアデザイン学部紀要第11号

- ・学校と職業世界のあいだ
  - 戦後高校教育政策の転回と今日的課題—  
(日本教育政策学会年報第20号『転機にある教育政策』2013年、25頁-40頁)
- ・景気変動期にみる大学生の就職意識の変化
  - 「リーマンショック」のインパクトを中心に—  
(梅崎修、田澤実、林絵美子との共著、『キャリアデザイン研究』Vol.9、日本キャリアデザイン学会、2013年、191頁-200頁)
- ・キャリア教育研究
  - (金山喜昭・児美川孝一郎・武石恵美子編『キャリアデザイン学への招待』ナカニシヤ出版、2014年、23頁-33頁)
- ・日本における若者キャリア支援の展開と課題
  - 学校外の若者支援・学校内のキャリア教育—  
(教育科学研究会編『地域・労働・貧困と教育』講座・教育実践と教育学の再生4巻、かもがわ出版、2013年、182頁-198頁)
- ・権利としてのキャリア教育
  - (小池由美子編『新しい高校教育をつくる』新日本出版社、2014年、87頁-102頁)
- ◇その他
  - ・キャリアに自分で責任を
    - (『毎日新聞』2013年4月5日朝刊)
  - ・親密で相互承認し合うコミュニティに向かう若者の「価値観」
    - (『月刊レジャー産業資料』2013年5月号、23頁)
  - ・就活解禁繰り下げ やり方次第では逆効果も
    - (『東京新聞』2013年5月18日朝刊)
  - ・(インタビュー) ブラック企業に対抗できる本当のキャリア教育とは
    - (『POSSE』vol.19、堀之内出版、2013年6月、124頁-133頁)
  - ・(インタビュー) 日本のキャリア教育の第一人者 児美川孝一郎氏に聞く
    - (『Youth-Acty!』Vol.8,2013年、9頁)
  - ・(インタビュー) 「キャリアデザイン」を高校でいかに考え、指導するか
    - (『キャリアガイダンス』No.49、リクルート進学総研、2013年、8頁-10頁)

- ・(インタビュー) 子どものキャリアに親はどうかかわる?  
(『情報労連レポート』2013年12月号、16頁-17頁)
- ・正社員をめざす教育は転機  
(『朝日新聞』2013年12月18日朝刊)

## 齋藤嘉孝

### ◇書籍

- ・2014「家族論」金山喜昭・児美川孝一郎・武石恵美子編『キャリアデザイン学への招待—研究と教育実践』ナカニシヤ出版、pp.75-81

### ◇論文

- ・2013「祖父母むけ公的プログラムのあり方に関する論考—母親の“実家依存”との関連において—」『生涯学習とキャリアデザイン 法政大学キャリアデザイン学会紀要』11: 53-58
- ・2014「父親・祖父母等むけ公的プログラムに関する全国市区町村悉皆調査の中間報告」『生涯学習とキャリアデザイン 法政大学キャリアデザイン学会紀要』12
- ・2014「祖父母むけ公的プログラムにおける効果評価とリクルーティング—“孫育て講座”に関する事例検討」『法政大学キャリアデザイン学部紀要』11

### ◇記事

- ・2013「文献紹介 松本伊智朗(編著)『子ども虐待と家族—「重なり合う不利」と社会的支援—』」『家族社会学研究』25(2)

## 酒井理

### ◇論文

- ・「地域社会における商売の本質を考える」『商工金融』2013年9月号、69-70頁。

### ◇その他

- ・口頭発表「ネガティブイメージ克服のマーケティングを考える—消費者金融を題材に—」クレジットマネジメント研究会、2013年12月24日、早稲田大学。

## 坂本旬

### ◇論文

- ・Jun Sakamoto & Kyoko Murakami, The “Culture Quest” Project- Media and Information Literacy & Cross Cultural Understanding, Edited by Ulla Carlsson & Sherri Hope Culver, *MILID Yearbook 2013 - Media and Information Literacy and Intercultural Dialogue*, The International Clearinghouse on Children, Youth and Media Nordicom, 2013.

### ◇著書

- ・坂本旬『メディア情報教育学』法政大学出版局

## 笹川孝一

### ◇著書

- ・『キャリアデザイン学のすすめ～仕事、コンピテンシー、生涯学習社会～』法政大学出版局 2014年

### ◇共著書

- ・『キャリアデザイン学への招待』ナカニシヤ書店 2014年

### ◇論文

- ・『『湿地の文化』研究と辻井達一』日本湿地学会『湿地研究』第3号 2013年4月
- ・『社会教育全国研究集会での日韓交流 外編』『日韓交流20周年記念資料集』第53回社会教育全国研究集会 2013年
- ・『公民館、図書館、博物館における『知識』再生産と職員の専門性について』『法政大学資格課程年報』第3号 2014年

### ◇報告書

- ・『谷津干潟の再生を目指して』谷津干潟観察センター 2013年
- ・『湿地の文化～東アジア編～』報告書第2集 日本国際湿地保全連合2014年
- ・『湿地の保全、ワイズユース、交流・教育・参加活動における地方自治体と国、県、NGO、専門家等の連携について』ラムサール条約湿地関係市町村会議 2014年

## ◇学会発表等

- ・「『湿地の文化～北海道編～』の制作について」北海道ラムサールネットワーク 雨竜町公民館 2013年6月
- ・シンポジウム「谷津干潟の再生を目指して」（コーディネーター）習志野市 谷津干潟観察センター 2013年6月
- ・「湿地の保全・再生における『湿地の文化と技術』の位置づけについて」中国科学院主催シンポジウム「湿地の保全と生物多様性」 中国・長春市 2013年8月
- ・「社会教育全国研究集会での日韓交流 外編」『日韓交流20周年記念資料集』第53回社会教育全国研究集会 千葉大学 2013年8月
- ・「ESDと環境教育における『教育学』について」日本環境教育学会 びわこスポーツ成蹊大学 2013年8月
- ・「片野鴨池をめぐる保全とワイズユースについて」日本湿地学会 加賀市片野町民会館 2013年9月
- ・「日本湿地学会の研究の方向性について」日本湿地学会 加賀市ホテルアローレ 2013年9月
- ・「ESDと『社会教育』概念の再構成」日本社会教育学会第59回研究大会 東京学芸大学 2013年10月
- ・シンポジウム「湿地の保全、ワイズユース、交流・教育・参加活動における地方自治体と国、県、NGO、専門家等の連携について」（コーディネーター）ラムサール条約湿地関係市町村会議・環境省 那覇市 2013年10月
- ・公開専門家会議「湿地の文化～東アジア編～」（コーディネーター）日本国際湿地保全連合・地球環境基金 2013年12月
- ・「Learning City and Knowledge Creation in Local Context」East Asian Federation for Adult Education Thailand, Bangkok, Chulalongcorn University 2014年1月

## 佐藤厚

## ◇著書分担執筆

- ・「ビジネスとキャリア 人材育成論」金山喜昭・児美川孝一郎・武石恵美子

310 法政大学キャリアデザイン学部紀要第11号

編『キャリアデザイン学への招待』ナカニシヤ出版 pp.58-70.

◇研究論文

- ・「リーダー人材の育成事例と研究課題」『法政大学キャリアデザイン学会紀要』（2013年3月 vol.10掲載予定）

◇書評

- ・「書評 乗杉澄夫・岡橋充明著『ホワイトカラーの仕事とキャリア——スーパーマーケット店長の管理』」『大原社会研究所雑誌』2013年2月号掲載予定、pp.53-57

◇学会発表

- ・「(統一論題：人材育成の常識・非常識——新しい働き方を問う——シンポジウム2：次世代のキャリア形成——キャリア概念の再検討) 人材育成とキャリア形成」日本労務学会第43回全国大会研究報告論集（2013年7月7日 大阪国際大学）pp.35-42

◇その他 事典項目執筆

- ・「企業経営と国際化」『社会調査事典』丸善出版2013年2月刊行予定 pp.558-559

## 佐藤一子

◇著書（分担執筆）

- ・「イタリア学習社会の歴史像—グローバル化する地域と社会連帯的な学びの文化」消費者問題研究グループ編『消費者市民社会と企業・消費者の役割』中部日本教育文化会 2013年3月、pp.39-45
- ・「社会を創る市民の学びと講座の役割」朝岡幸彦他編『講座づくりのコツとワザ』国土社、2013年8月、pp.8-16.
- ・「市民の学びとNPO」小林文人他編『日本の社会教育・生涯学習』大学教育出版、2013年10月、pp.223-235.

◇論文

- ・地域学習論ノート（2）「昔話の口承と地域学習の展開—岩手県遠野市の『民話のふるさと』づくりと語り部たちの活動」『キャリアデザイン学部紀要』2013年3月 pp.339-382.

- ・地域学習論ノート（3）「文化創造的営為としての昔話の口承活動—遠野の語り部たちのライフストーリーの考察—」『キャリアデザイン学部紀要』2014年3月（印刷中）

◇評論・書評等

- ・「生活の共同性を育む学び」『月刊社会教育』2013年9月号、pp.42-43.
- ・書評 信州宮本塾『農村発住民白書 2』『月刊社会教育』2013年12月号 pp.44-45

◇報告書

- ・科学研究費補助金基盤C（佐藤一子）中間報告書『戦後教育思想における「地域と教育」への問い—大田堯氏・北田耕也氏・藤岡貞彦氏インタビュー記録集—』2013年7月、pp.1-68.

◇学会発表

- ・「昔話の口承と地域文化創造」日本社会教育学会第60回大会自由研究発表  
2013年9月28日 於東京学芸大学

## 佐藤恵

◇論文

- ・「震災復興支援と『支え合い』」福祉社会学会『福祉社会学研究』第10号、2013年6月、pp.56-72
- ・「支援現場における調査と調査倫理」社会調査協会『社会と調査』第11号、2013年9月、pp.63-69
- ・「『聴く』ことと『つなぐ』こと—犯罪被害者に対する総合的支援の展開事例」伊藤智樹編『ピア・サポートの社会学—ALS、認知症介護、依存症、自死遺児、犯罪被害者の物語を聴く』晃洋書房、2013年11月、pp.123-156

◇学会発表

- ・「『聴く』ことと『つなぐ』こと—犯罪被害者に対する総合的支援の展開事例」第86回日本社会学会大会、2013年10月

◇その他

- ・「書評に込めて」社会学研究会『ソシオロジ』第58巻第1号、2013年6月、pp.133-136（丸山里美「書評：佐藤恵『自立と支援の社会学—阪神大震災と



312 法政大学キャリアデザイン学部紀要第11号

ボランティア』東信堂、2010年」へのリプライ)

- ・「福祉分野におけるアドボカシー」福祉社会学会編『福祉社会学ハンドブック—現代を読み解く98の論点』中央法規、2013年7月、pp.56-57
- ・「多様な場面でのエンパワメント」福祉社会学会編『福祉社会学ハンドブック—現代を読み解く98の論点』中央法規、2013年7月、pp.58-59
- ・「ライフキャリア領域の概要」金山喜昭・児美川孝一郎・武石恵美子編『キャリアデザイン学への招待—研究と教育実践』ナカニシヤ出版、2014年1月、pp.71-74

## 佐貫浩

### ◇著書

- ・『品川の保育でいま何が起きているのか』品川の保育を考える会・佐貫浩編著、花伝社、2014年2月
- ・教科研講座「教育実践と教育学の再生」第5巻『3・11と教育改革』かもがわ出版、佐貫浩・佐藤広美・宮下聡・中田康彦編 2013年12月（執筆論文）「生存権保障と教育の自由の回復へ——危機に立ち向かう共同のための教育改革」277-297頁

### ◇論文

- ・『『知識資本主義』、『知識基盤型社会論』批判—グローバル化と新自由主義教育政策下の学力問題を考えるために』法政大学キャリアデザイン学会紀要2013年度版2014年3月
- ・「岐阜県恵那の教育運動の展開と戦後教育学——石田和男の教育運動と実践の理論の展開に即して——〈その1〉」法政大学キャリアデザイン学部紀要2013年版、2014年3月
- ・「現代のいじめと子ども・学生——人間の共同性の反乱としてのいじめと表現・民主主義——」『法政大学教職課程年報 No.11、2014年』
- ・「現代における平和を考える」平和国際教育研究会機関誌『平和のために』第13号、2014年3月、2-9頁
- ・「憲法を子ども・若者の希望とするために」雑誌『教育』2014年2月号、2014年1月、かもがわ出版、15-23頁

- ・「新自由主義教育改革を推進するメカニズム」民主教育研究所編集、雑誌『人間と教育』80号、旬報社、2013年12月、84-91頁
- ・「大学における学生の学びの空間の公共性を考える」法政大学キャリアデザイン学会紀要VOL11、2013年9月、33-51頁
- ・「3・11から何を学び、何を考えるか——新自由主義、生存権保障、共同への学力を考える」雑誌『高知教科研』33号、高知教科研、2013年7月、3-29頁
- ・「『知識基盤型社会論』と学力問題——新自由主義教育政策下の学力問題をどう捉えるか——」地域民主教育全国交流会『子ども・学校・地域』交流研通信no78、2013年7月、11-18頁
- ・「『学力』による教育管理と競争のメカニズム——子どもを支える学力の姿の探究を手放さない」雑誌『にいがたの教育情報』2013年6月号、にいがた県民教育研究所、1-8頁
- ・「子どもの生活の中に平和的生存権の確立を一憲法改悪に対抗する教育」雑誌『クレスコ』2013年7月号、大月書店、16-19頁
- ・「競争・分断・孤立を超える共同へ——安倍内閣の教育改革の本質と方法批判」雑誌『教育』2013年6月号、かもがわ出版、5-13頁
- ・「現代世界と民主主義・平和（2）-子ども世界の民主主義を考える」平和国際教育研究会機関誌『平和のために』第12号2013年4月、平和国際教育研究会、2-7頁
- ・「安倍内閣の危険な教育改革の意図と手法——『地域主権』下の自治体教育改革との関連を踏まえて」雑誌『前衛』2013年4月号、日本共産党、109-122頁

## 高野良一

### ◇著書

- ・「社会関係資本のエートス論—教育理論の『可能性の中心』」日本教育社会学会『教育社会学研究』第94集
- ・「学部カリキュラムの考え方と全体像」金山喜昭・児美川孝一郎・武石恵美子編『キャリアデザイン学への招待』ナカニシヤ出版

## 武石恵美子

### ◇著書

- ・『キャリアデザイン学への招待 ―研究と教育実践』（共編著）、ナカニシヤ出版、2014年1月.
- ・『ワーク・ライフ・バランス支援の課題 ―人材多様化時代における企業の対応』（共編著）、東京大学出版会、2014年2月.

### ◇論文

- ・「従業員の自律的なキャリア意識の現状 ―プロティアン・キャリアとバウンダリーレス・キャリア概念の適用」（林洋一郎と共同執筆）『日本キャリアデザイン学会』Vol. 9、2013年10月、pp.35-48.
- ・「ドイツ、イギリスの柔軟な働き方の現状 ―短時間勤務制度の効果的運用についての日本への示唆」（松原光代と共同執筆）『法政大学キャリアデザイン学会紀要』第11号、2014年3月
- ・「女性の仕事への意欲を高める職場の要因 ―女性の昇進意欲と仕事のやりがいに関する分析」労働政策研究・研修機構『男女正社員のキャリアと両立支援に関する調査結果 ―分析編』2014年3月

### ◇その他

- ・「多様な人材が活躍する社会への課題」『月刊社労士』2013年4月号、pp.24-25.
- ・「男女双方を視野に入れた働き方の柔軟化を進めるべきだ」『週刊エコノミスト』2013年6月18日号、p. 91.
- ・「正社員の多様化は企業にとっても有用、制約のある働き方がスタンダードに（インタビュー記事）」『労政時報』第3848号、2013年6月、pp.27-30.
- ・「少子化とワーク・ライフ・バランス」『月刊福祉』2013年8月号、pp.25-28.
- ・「多様な人材を活かす経営」『月刊不動産流通』2013年8月号、pp. 8-9.
- ・「参院選の焦点：女性の力が日本の未来を開く」『潮』2013年8月号、pp.50-55.
- ・「視点：女性活躍推進の課題① ―管理職登用にみる職場の課題」『労務事情』2013年10月1日号、p. 2.
- ・「視点：女性活躍推進の課題② ―働き方改革の重要性」『労務事情』2013年

10月15日号、p.2.

- ・「ダイバーシティ（多様性）推進と働き方改革」『技術と経済』2013年10月号、pp.12-23.
- ・「『女子力』が企業の業績を変える（鼎談）」『ベストパートナー』2013年11月号、pp.2-14.
- ・「女性の活躍を進めるために企業がすべきこと」『月刊経団連』2013年11月号、pp.36-37.
- ・「書評：石井クンツ昌子著 『育メン』現象の社会学—育児・子育て参加への希望を叶えるために」『大原社会問題研究所雑誌』No.664、2014年2月、pp.77-80.
- ・「ワーク・ライフ・バランスを実現する職場マネジメント」『2014年版 賃金・労働条件総覧』2014年2月、pp.207-210.
- ・「ライフを大切にすると人ほどじつはキャリアも自律している」『RMS message』2014年2月、PP.10-12.

#### ◇学会発表

- ・「勤務地限定社員の処遇の実態と就業意識 —『正社員多元化調査』の再分析2—」日本労務学会第43回全国大会（2013年7月）

## 田澤実

#### ◇著書

- ・『大学生の学びとキャリア—入学前から卒業後までの継続調査の分析』法政大学出版会（2013年4月）梅崎修と共編著

#### ◇論文

- ・「青年期の就労問題—ニート支援機関の実践から」長崎勤・森正樹・高橋千枝（編）『社会性発達支援のユニバーサルデザイン』金子書房（2013年3月）
- ・「就活の都市・地方間比較」松繁寿和・平尾智隆・梅崎修（編著）『教育効果の実証—キャリア形成における有効性』日本評論社（2013年6月）林絵美子・梅崎修と共著
- ・「キャリア支援」日本発達心理学会（編）『発達心理学事典』丸善出版（2013年6月）

316 法政大学キャリアデザイン学部紀要第11号

- ・「自己の確立と進路決定—キャリア心理学への誘い—」心理科学研究会（編）『大学生生活をゆたかにする心理学』福村出版（2013年7月）
- ・「学部の学びと卒業後の進路——アンケート調査の分析」『キャリアデザイン学への招待—研究と教育実践』ナカニシヤ出版（2014年1月）梅崎修と共著
- ・「進学と就職に伴う地域間移動—全国の大学生データを用いて」『サステイナビリティ研究』第3号（2013年3月）梅崎修・唐澤克樹と共著
- ・「SNSは就職活動の効果的なツールか？—就職活動生に対するアンケート調査結果の分析」『キャリアデザイン研究』第9号（2013年10月）柿澤寿信・梅崎修と共著
- ・「景気変動期にみる大学生の就職意識の変化—「リーマンショック」のインパクトを中心に」『キャリアデザイン研究』第9号（2013年10月）梅崎修・林絵美子・児美川孝一郎と共著

◇学会報告

- ・「新卒採用時に求められる能力と採用方法—産業別、従業員教育に着目して」日本労務学会大会（2013年7月）佐藤一磨・小林徹・梅崎修との共著
- ・「キャリア意識がキャリアセンターに対するイメージに与える影響—どのような学生にとってはイメージが良くないのか？—」日本キャリアデザイン学会（2013年10月）

**田中研之輔**

◇翻訳書

- ・『ボディ&ソウル—ある社会学者のボクシング・エスノグラフィー』（ロイック・ヴァカン著、倉島哲・石岡丈昇共訳）新曜社、2013年2月。

◇論文

- ・“Advanced Marginalization and Re-criminalization of Undocumented Workers in the U. S” Robert E. Rinehart etc. “Ethnographic Worldviews-Transformations and Social Justice” Springer press,39-48, 2013.5
- ・「都市型サービス産業の労働現場—民間施設に従事する若年専門技術者の事例」町村敬志編『都市に潜む排除と反抗の力』明石書店、2013年2月、122-145.

- ・「働くものの目線」吉原直樹・近森高明編『都市のリアル』有斐閣、2013年8月、67-83.
- ・「調査を通じた学び—方法論」金山喜昭・児美川孝一郎・武石恵美子編『キャリアデザイン学への招待—研究と教育実践』ナカニシヤ出版、2014年1月、pp.151-161.
- ・「サービス産業におけるインターナルマーケティングの実態と課題」『法政大学キャリアデザイン学会紀要』第11号、2014年3月.

◇学会発表

- ・「複数店舗管理職の仕事—外食ファストフード産業を事例に—」第61回関東社会学会—橋大学2013年6月

**趙宏偉**

◇著書

- ・編集（共編）『中国年鑑・2013年』一般社団法人中国研究所、2013年

◇論文

- ・「中国外交・概観」同上。
- ・「特集Ⅲ 胡錦濤から習近平へ——権力の制度とメカニズム」同上
- ・「中国外交と上海合作組織」『日本学』北京大学日本研究センター編、世界知識出版社、2013年、第19巻。
- ・「オバマ・習近平のカリフォルニア『合宿』」中国研究所編『中国研究月報』2013年7月号。
- ・「《特集＝どうする日中関係》選択の時——敵国化か、友好回帰か」同上、11月号。

**筒井美紀**

◇著書

- ・『大学選びより100倍大切なこと——「暗記パン頭」をリセットせよ!』ジャパンマシニスト社、2014年。
- ・「大学から労働への移行」岩上真珠・大槻奈巳編『キャリアデザイン入門』有斐閣、2014年、第5章（原稿用紙換算35枚）

◇論文

- ・「『労働力開発とコミュニティ・オーガナイズジング』をどう見るか——ステレオタイプを止めないとアメリカの面白さはわからない——」『アメリカの労働力開発政策と地域コミュニティ』労働政策研究・研修機構、2014年、序章（原稿用紙換算72枚）
- ・「州政府系の労働力開発機構——ミシガン・ワークス！」『アメリカの労働力開発政策と地域コミュニティ』労働政策研究・研修機構、2014年、第4章（原稿用紙換算32枚）
- ・「コミュニティ・カレッジ——期待される資格認定証（certification）の授与機能」『アメリカの労働力開発政策と地域コミュニティ』労働政策研究・研修機構、2014年、第5章（原稿用紙換算40枚）
- ・「米国における公共労働力開発専門職の全国的組織化——NAWDPの活動と日本への示唆——」『法政大学キャリアデザイン学部紀要』vol.11、2014年。
- ・「格差社会における是正措置」国民総合教育文化研究所・都市政策研究会『ポスト成長社会と教育のありよう（中間報告）—人と人の関係再構築に向けて—』、2013年、pp.49-63.
- ・「『働くこと』の語り方の『貧困』から脱却する——生徒・学生たちに『働くこと』の『豊かさ』を伝えるために」国民総合教育文化研究所・都市政策研究会『ポスト成長社会と教育のありよう（最終報告）—業績承認から存在承認へ—』、2013年、pp. 55-66.

◇学会発表

- ・広田照幸・末富芳・香川七海・田中真秀・筒井美紀「『歴史』としての日教組運動（1）——1980年代日教組400日抗争における路線対立軸の整理——」日本教育学会第72回大会、2013年8月28日、於一橋大学。

◇その他

- ・『基礎自治体の就労支援——横浜市と豊中市の事例をもとに——』平成23-25年度科学研究費補助金基盤研究（C）「地域主権をめぐる葛藤と社会的労働市場の持続的発展に関する教育・労働社会学的研究」（研究代表者・筒井美紀：課題番号23531139）成果報告書、2013年、160pp.
- ・「あとわずか…教育実習までどう学ぶ？——『量より質』の教育実習準備は

- こんなふうには——」『法政学教職課程年報』VOL. 11、2014年、pp. 68-77.
- ・「序文」、遠藤野ゆり・大塚類『あたりまえを疑え！ 臨床教育学入門』新曜社、2014年、pp.i-v.
  - ・「インクルーシブな地域社会をつくるには何が必要だろうか——盲点になりやすいこと、疑われない『あたりまえ』という観点から——」日本学術振興会科学研究費基盤研究（A）「日本型福祉・雇用レジームの転換をめぐる集団政治分析」（代表：中央大学・宮本太郎）主催：シンポジウム「地域生活支援の新しい戦略——困窮化と高齢化を超えて」、2014年1月14日、於中央大学駿河台記念館。
  - ・「無防備な就活／不十分なキャリア支援——いますぐ大学が取り組むべきこと」特定非営利法人あったかサポート主催「若者が雇用につまずかないために・シンポジウム第6弾」、2013年9月14日、於同志社大学。
  - ・「新相互扶助主義とは何か——フリーランサーズユニオンにみる生活保障のための団結」研究会・職場の人権主催「崩れゆく雇用と生活をどう立て直すのか——アメリカの新しい社会運動に学ぶこと」、2013年7月20日、於エル大阪。

## 中野貴之

### ◇著書

- ・（共訳）『アメリカ会計学——理論、制度、実証——』同友館、2013年（共訳者：長谷川哲嘉、中野貴之、成岡浩一、菅野浩勢、松本安司、平賀正剛）、第3章「財務会計の制度構造をめぐる展開」（pp. 65-109）、第8章「投資者および債権者に対する会計情報の有用性」（pp. 279-347）担当。
- ・（分担執筆）『テキスト国際会計基準（第6版）』白桃書房、2013年（桜井久勝編著）、第42章「共同支配の取決め（IFRS11）」（pp. 298-303）担当。
- ・（共著）『教育効果の実証——キャリア形成における有効性——』日本評論社、2013年（平尾智隆、梅崎修、松繁寿和編）、第3章「志望業界の変化は大学生の就職活動にどのような影響を及ぼすか——卒業時アンケート調査の分析」（共著者：佐藤一磨、梅崎修、上西充子、中野貴之、pp. 39-65）、第4章「大学生の就職活動における情報活用の意義——大学4年生調査の分析」（共



320 法政大学キャリアデザイン学部紀要第11号

著者：田中賢久、佐藤一磨、梅崎修、上西充子、中野貴之、pp. 67-82)、第6章「新卒需要の変動が大学生の就職活動に与える影響——卒業生アンケート調査の分析」(共著者：佐藤一磨、梅崎修、上西充子、中野貴之、pp. 111-131)。

◇口頭発表

- ・(共同)「東日本大震災のディスクロージャー問題に関する実証研究」、日本ディスクロージャー研究学会第7回研究大会特別プロジェクト報告、福島学院大学、2013年5月12日(研究代表者：薄井彰)。
- ・「財務情報の有用性」、中央大学企業研究所公開研究会、中央大学多摩キャンパス、2013年6月14日。
- ・「金融資産に関する実証研究」、国際会計研究学会研究グループ研究会、法政大学市ヶ谷キャンパス、2013年7月28日。
- ・(共同)「IFRSにおける資産会計の総合的研究」、国際会計研究学会第30回研究大会研究グループ報告、中央大学後楽園キャンパス、2013年9月14日(研究代表者：菊谷正人)。
- ・「東日本大震災に関するディスクロージャーの実態——適時開示における震災関連情報——」、日本ディスクロージャー研究学会特別プロジェクト研究会、早稲田大学日本橋キャンパス、2014年1月10日。

◇その他

- ・「〈書評〉島田佳憲著『自社株買いと会計情報』(中央経済社、2013年)」『産業経理』Vol. 73 No. 2、pp. 136-137.
- ・「中野ゼミ——キャリアデザインに関する実証分析」、金山喜昭、児美川孝一郎、武石恵美子編『キャリアデザイン学への招待』ナカニシヤ出版、2014年、pp. 118-120.

林洋一郎

◇論文

- ・Justice orientation as a moderator of the framing effect on procedural justice perception., with Sasaki, H., Journal of Social Psychology, in press.
- ・「従業員の自律的なキャリア意識の現状 —プロティアン・キャリアとバウ

ンダリーレス・キャリア概念の適用」(武石恵美子と共同執筆)『日本キャリアデザイン学会』Vol. 9、2013年10月. pp.35-48.

◇書籍・翻訳

- ・「みる」ことからデータを探る：観察法(第7章)／現場から心を探る：フィールドワークと質的データの分析(第8章) 大野木裕明・渡辺直登(編著)『心理学研究法』日本放送協会出版(2014年3月刊行予定).
- ・メンタリング関係 B. B. Brown, & J. P. Mitchell(編)／子安増生・二宮克美(監訳)『青年期発達百科事典』(2014年3月刊行予定)  
(原著: Rhodes, J. E., Lowe, S. R., & Schwartz, S. E. O. (2001) Mentoring Relationship. In B. B. Brown, & J. P. Mitchell (Eds.), Encyclopedia of Adolescence volume 2 (pp. 196-204). London, England: Academic Press.)

◇学会発表

- ・Assessment of the Vocational Training Program for Unemployed Job Seekers: a Japanese Investigation., with Usami, Y., Paper presented at the 13th European Congress of Psychology, Stockholm, Sweden, July, 2013.
- ・Effect of trait and state self-control on deviant behavior: A short-term panel study., with Nakagawa, T., Paper presented at the 13th European Congress of Psychology, Stockholm, Sweden, July, 2013.
- ・職場の内集団および自己に対する不公正な処遇が精神的健康に与える影響 日本社会心理学会第54回大会、2013年11月(沖繩国際大学)(川嶋伸佳・大渕憲一と共同発表).
- ・不公正経験は自己統制意欲を低減するか?。(中川知宏との共同発表). 日本社会心理学会第54回大会、2013年11月(沖繩国際大学).
- ・失業者の社会的スキル訓練が職務探索に与える影響: 中核的自己評価の役割に注目して。(宇佐美康司との共同発表). 経営行動科学学会第16回年次大会、2013年10月(名古屋大学).
- ・エビデンスに基づく実践に役立つプログラム評価の視点(2). (安田節之・本間隆之・宇佐美康司・藤後悦子との共同シンポジウム). 日本心理学会第77回大会、2013年9月(北海道医療大学／札幌コンベンションセンター).
- ・幼少期の養育スタイルに関する親子の評定の一致度: 制御焦点傾向との関連

322 法政大学キャリアデザイン学部紀要第11号

をふまえて。(佐々木宏之との共同発表). 日本心理学会第77回大会、2013年9月(北海道医療大学/札幌コンベンションセンター).

- ・組織における公正が従業員のウェルビーイングに与える影響：制御焦点の媒介効果に注目して。(関口倫紀・大崎泰子との共同発表). 産業・組織心理学会第29回大会 2013年9月(京都橘大学).

## 松島英子

### ◇論文

- ・Women who played the role of interceder: Part 1, REFEMA 2<sup>nd</sup> workshop (June 22, 2013, Tokyo), Blog REFEMA: <http://refema.hypotheses.org/32>
- ・ *hīrtu and kallātu* as titles of wife, Women who played the role of interceder: Part 2, REFEMA 3<sup>rd</sup> workshop (September 4, 2013, Carqueiranne)、Blog REFEMA: <http://refema.hypotheses.org/32>

### ◇翻訳書

新規の出版ではないが、かつて出版した以下の翻訳書が新装版として刊行された。

- ・ジャン・ボテロ著、松島訳『バビロンとバイブル 古代オリエントの歴史と宗教を語る』法政大学出版局、新装版 2013年8月
- ・ジャン・ボテロ著、松島訳『最古の宗教 古代メソポタミア』法政大学出版局、新装版 2013年8月

### ◇著書

- ・Eiko MATSUSHIMA and Hirofumi TERAMURA, *Brick Inscriptions in the National Museum of Iran: a catalogue*, Ancient Text Sources in the National Museum of Iran, vol. I, Iran-Japan Project of Ancient Text, Nakanishi Printing Co. Ltd, Kyoto, November 2012. Chapter.1, pp.2 - 240

### ◇学会発表

- ・ *hīrtu and kallātu* as titles of wife, Women who played the role of interceder: Part 2, REFEMA 3<sup>rd</sup> workshop (September 4, 2013, Carqueiranne)

## ◇その他

## &lt;学術講演&gt;

- ・「メソポタミア社会における女性の役割の一側面：主人公の傍らの女性」  
2013年6月24日：中央大学人文科学研究所

**宮城まり子**

## ◇著書

- ・宮城まり子 編著（共著：今村幸太郎、杉山雅宏、山蔦圭輔、渡部卓、渡邊祐子）『社会人のための産業カウンセリング入門』産業能率大学出版部  
2014年1月
- ・宮城まり子 単著 『仕事に役立つ心理学』日本生産性本部 出版部 2014年3月予定
- ・共著 金山嘉昭、児美川孝一郎、武石恵美子編著、『キャリアデザイン学への招待—研究と教育実践』ナカニシヤ出版、2014年1月

## ◇論文

- ・宮城まり子 単著「キャリアカウンセラーの質的向上とスーパービジョン：スーパービジョンの必要性と役割に関する一考察」、法政大学キャリアデザイン学会紀要『生涯学習とキャリアデザイン』11巻、2013年9月
- ・宮城まり子 単著「自律的キャリア開発と内発的動機づけ」、日本監査役協会 月刊『監査役』620号、12月号、2013年
- ・宮城まり子 単著「教育相談における母親のメンタルヘルスケア」、日本教材文化研究所財団研究所紀要、43巻、2014年1月

## ◇その他

- ・宮城まり子 書評 山岡順太郎著『仕事のストレスとメンタルヘルス、雇用管理』独立行政法人 日本労働政策研究・研修機構、『日本労働研究雑誌』635号、2013年6月
- ・宮城まり子 書評 渡邊祐子著『長期勤続女性の活用に関する心理学的研究—女性のリーダーシップ。マネジメント・スキルからのアプローチ』、昭和女子大学近代文化研究所紀要『学苑』10月号、2013年
- ・宮城まり子 「なぜ、今から進路力を意識しておくことが大切なのか」、ベ

324 法政大学キャリアデザイン学部紀要第11号

- ・ ネットセ、『チャレンジ通信特別号』、10月号、2013年
- ・ インタビュー 読売新聞「大学の實力」2013年4月12日号
- ・ インタビュー 日本経済新聞「働けない若者の危機 第6部④」2013年

## 八幡成美

- ・ 「ライフサイクルを踏まえたキャリア開発」、小木和孝編『産業安全保険ハンドブック』労働科学研究所（2013） p56～57
- ・ 「大学院における教育・研究」、金山、児美川、武石編『キャリアデザイン学への招待』ナカニシヤ出版（2014） p190～210
- ・ 「中堅社員の育成と人事教育システムとの連動」、『産業訓練』2013.12、vol.59 No.693 p4～7
- ・ 「ものづくり人材の育成—職能を高める仕組み作り—」、『産政研フォーラム』2013冬、No.100 p7～13
- ・ 「認定職業訓練校における技術・技能者養成の実情（1）—（株）ミットヨ宇都宮事業所の事例—」、『法政大学キャリアデザイン学会紀要』、2013.9、Vol.11 p109～115

## 山田泉

### ◇著書

- ・ 「外国につながる子どもたちの物語」編集委員会（山田を含む6人共著、まんが：みなみななみ）2013.06.01『まんがクラスメイトは外国人入門編—はじめて学ぶ多文化共生—』明石書店
- ・ 山田泉 2013.04.13『多文化教育I』法政大学出版局
- ・ 山田泉（分担執筆）2014.01.15「3. コミュニティ研究」（第1部キャリアデザイン学へのアプローチ 第3章生活とキャリア—ライフキャリア領域）金山喜昭・児美川孝一郎・武石恵美子編『キャリアデザイン学への招待』ナカニシヤ出版 pp.81-93